

3. 執筆委員会立ち上げ

はじめに(執筆委員会立ち上げ呼び掛け文)

韓青全国同志ヨロブン、アンニョンハセヨ? 韓青中央委員長の韓成祐です。

去る2月、解放出版社(部落解放同盟の関連出版社)の方から、「当事者が語るシリーズ」という書籍シリーズを刊行し、その在日コリアン青年版を韓青に執筆してもらいたいという依頼が中央本部にきました。後日担当の方に中央事務所まで来ていただいて、書籍刊行について丁寧に教えていただきました。皆さんもご存じの通り、新型コロナウイルス感染拡大の影響で韓青活動は大きく制限され、組織的には大変厳しい状況にあります。しかし韓青にとってまたとない、絶好のチャンスだと判断したため執筆依頼を受けることにしました。

書籍を刊行する意義は大きく二つあると思います。一つ目は、実際にモノ(書籍)にすることでより多くの人に私たちの主張を届けることが出来るという、印刷出版の普遍的な目的です。韓青はかつて数々の書籍を刊行し、韓国軍事独裁政権の実態や在日韓国人青年の差別的境遇について、世の中に発信してきました。時代と社会状況の変化により、今となっては過去を知るための資料となっていますが、書籍が残っていること自体が韓青組織と運動の歴史を証明する貴重な財産であると言えます。

二つ目の意義は、書籍の刊行を通じて私たち自身が祖国と民族に対する認識を深め、在日韓国人青年にとってより魅力ある組織へと変貌することを試みる、組織的な目的です。2021年を迎える今日、在日韓国人青年を取り巻く状況は以前のどの状況とも異なり、祖国の情勢も絡み合って複雑化しています。私たちが私たち自身を取り巻く状況についてよく分かっておらず、古い情報や固定観念で語っているようでは、韓青が「分かる人には分かる」古典芸能のようなものになってしまいかねません。世界は不断に変化発展する過程にあり、私たちも在日韓国人青年状況に対する認識を常に更新していかななくてはなりません。

最も重要なことは書籍刊行を通じて、愛国運動に邁進する青年組織、韓青の精神を広く大衆に知らしめることです。より具体的に言えば、祖国と在日韓国人青年は不可分の密接な関係にあり、祖国の分断状況を克服して民族の真の解放を勝ち取る過程で、在日韓国人青年も民族的に解放されるという真理を世に伝えることです。韓青が他の民族団体とは違い、利益に毒されず祖国と民族に真っすぐに向き合うことを信条とする青年組織ということが分かれば、韓青を取り巻く状況は大きく好転的に変わるでしょう。幸運にも舞い込んできた書籍刊行の話ですが、これを運命を切り拓く契機とするかどうかは私たち次第です。

以上の経緯からより良い書籍の刊行、より大きな成果を得るために、韓青中央として「執筆委員会」を構成し執筆委員を募集します。支部活動と並行して執筆活動をすることになり忙しくなることが予想されますが、苦勞した分の見返り、とりわけ成長を得られることは保証します。採用にあたって重要視するのは文章力や知識、韓青での活動実績ではなく、熱意の一点です。「私たちのことを世に伝えたい」という熱い気持ちを持ったあなたの応募を、心からお待ちしております。

また執筆することは難しいけれど、執筆委員会の活動を応援したいという人のため、応援スタッフも同時に募集します。主に執筆活動のための聞き取り調査、文章の試し読みなどを依頼しようと思っています。こちらでも奮って応募いただければと思います。